

平成 28 年

福岡県の人口と世帯年報

— 平成 27 年 10 月～28 年 9 月 —

福 岡 県

第1 人口と世帯

1 人口の動向

(1) 総人口

平成28年10月1日現在の総人口は5,106,707人
総人口の51.12%を占める福岡地域

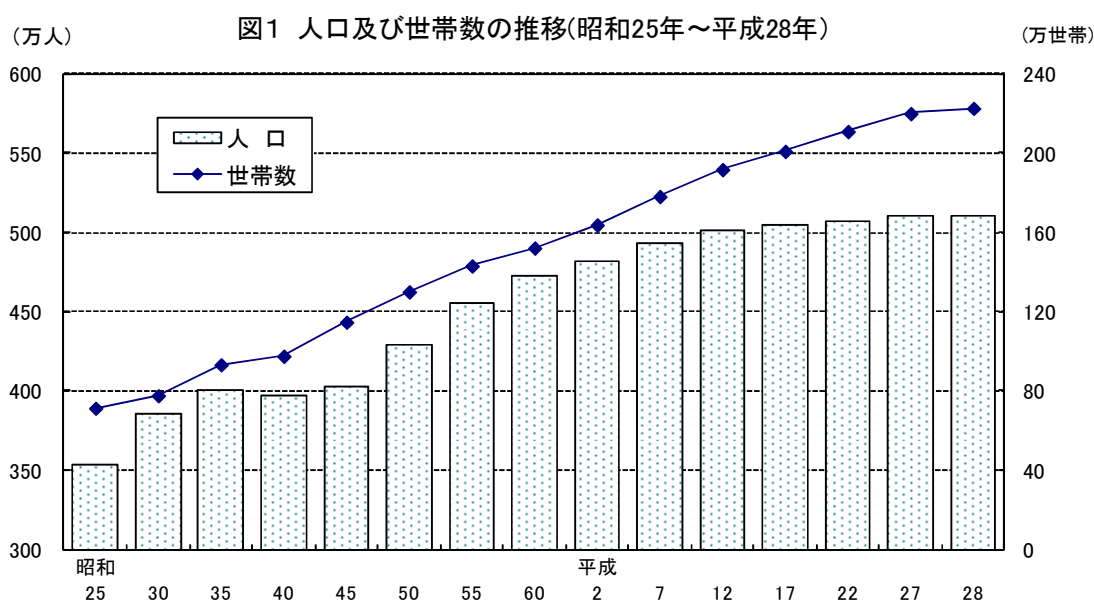
平成28年10月1日現在の福岡県の総人口は5,106,707人で、1年間(平成27年10月1日～28年9月30日)に、5,151人(0.10%)増加した。(表1, 図1)

人口を男女別にみると、男性は2,413,787人、女性は2,692,920人で、性比(女性100人に対する男性の数)は89.63となり、前年に比べ0.06ポイント上昇している。

また、地域別にみると、福岡地域が2,610,753人(総人口の51.12%)で最も多く、以下、北九州地域が1,274,782人(同24.96%),筑後地域が808,646人(同15.83%),筑豊地域が412,526人(同8.08%)となっている。(表1)

表1 総人口、構成比、増加数及び増加率

	総人口(人)		構成比(%)		増加数(人)	増加率(%)
	平成28年	平成27年	平成28年	平成27年		
福岡県	5,106,707	5,101,556	100.00	100.00	5,151	0.10
(男)	2,413,787	2,410,418	47.27	47.25	3,369	0.14
(女)	2,692,920	2,691,138	52.73	52.75	1,782	0.07
市部	4,454,171	4,448,474	87.22	87.20	5,697	0.13
郡部	652,536	653,082	12.78	12.80	-546	-0.08
福岡地域	2,610,753	2,591,442	51.12	50.80	19,311	0.75
筑後地域	808,646	812,402	15.83	15.92	-3,756	-0.46
筑豊地域	412,526	416,564	8.08	8.17	-4,038	-0.97
北九州地域	1,274,782	1,281,148	24.96	25.11	-6,366	-0.50



(2) 市町村別人口

人口は福岡市がトップ

総人口を市町村別にみると、福岡市（1,553,778人）及び北九州市（956,243人）の2市で福岡県の5割近くを占めており、以下、久留米市（304,972人）、飯塚市（128,543人）、大牟田市（116,033人）の順が続いている。（表2）

表2 人口及び構成比順位(市町村)

順位	市町村	人口 (人)	構成比 (%)
1	福岡市	1,553,778	30.43
2	北九州市	956,243	18.73
3	久留米市	304,972	5.97
4	飯塚市	128,543	2.52
5	大牟田市	116,033	2.27
6	春日市	110,648	2.17
7	筑紫野市	101,753	1.99
8	大野城市	100,020	1.96
9	宗像市	96,678	1.89
10	糸島市	96,540	1.89

(3) 人口密度

人口密度は、春日市がトップ

本県の1km²当たりの人口は、1,024.1人となっており、市町村別にみると、春日市が7,819.6人で最も高く、以下、志免町が5,215.8人、福岡市が4,524.8人となっている。（表3）

表3 人口密度順位(市町村)

順位	人口密度(人/km ²)	
1	春日市	7,819.6
2	志免町	5,215.8
3	福岡市	4,524.8
4	大野城市	3,719.6
5	粕屋町	3,262.8
6	水巻町	2,618.2
7	中間市	2,590.0
8	太宰府市	2,440.1
9	北九州市	1,943.8
10	須恵町	1,682.9

2 年齢別人口

進む人口の高齢化

本県人口の平均年齢は45.9歳で、前年(45.7歳)に比べ0.2歳上昇した。

人口を年齢3区分別にみると、年少人口(0～14歳)が675,202人(県人口の13.4%)、生産年齢人口(15～64歳)が3,029,437人(同60.1%)、老年人口(65歳以上)が1,339,441人(同26.6%)となっている。

1年間に、年少人口は843人、生産年齢人口は28,418人それぞれ減少したが、老年人口は34,677人増加している。(表4)

また、人口構成比でみると、年少人口は横ばい、生産年齢人口は0.6ポイント減少したのに対し、老年人口は0.7ポイント増加した。

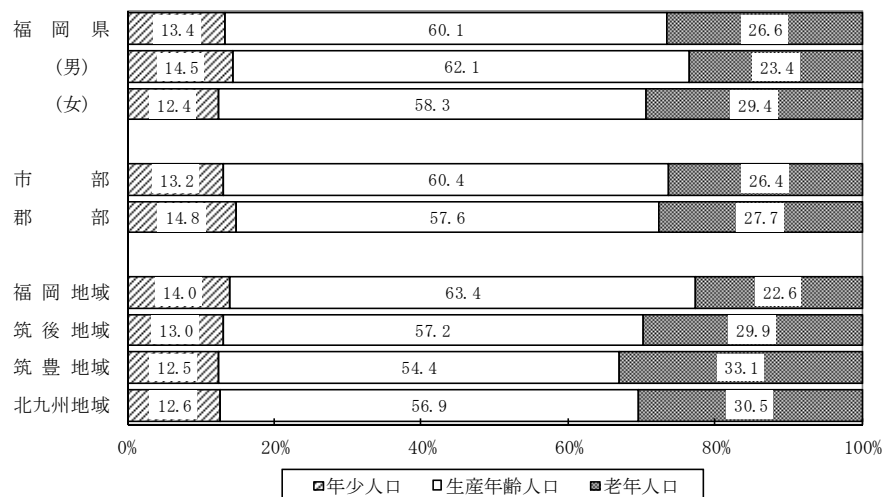
表4 年齢(3区分)別人口(平成7年～平成28年)

年次		平成28年	平成27年	平成22年	平成17年	平成12年	平成7年
人口(人)	総数	5,106,707	5,101,556	5,071,968	5,049,908	5,015,699	4,933,393
	年少人口 (0～14歳)	675,202	676,045	684,124	701,195	742,740	815,170
	生産年齢人口 (15～64歳)	3,029,437	3,057,855	3,227,932	3,326,610	3,393,080	3,382,470
	老年人口 (65歳以上)	1,339,441	1,304,764	1,123,376	997,798	870,290	728,574
構成比(%)	年少人口	13.4	13.4	13.6	14.0	14.8	16.5
	生産年齢人口	60.1	60.7	64.1	66.2	67.8	68.7
	老年人口	26.6	25.9	22.3	19.9	17.4	14.8
前年差(人)	年少人口	-843	-	-	-	-	-
	生産年齢人口	-28,418	-	-	-	-	-
	老年人口	34,677	-	-	-	-	-

注) 総数には「年齢不詳」を含む。構成比には「年齢不詳」を含まない。
平成7年～平成27年は総務省統計局「国勢調査」による。

地域別にみると、生産年齢人口割合が63.4%と最も高い福岡地域で、老年人口割合が最も低い22.6%となっている。一方、生産年齢人口割合が54.4%と最も低い筑豊地域では、老年人口割合が最も高い33.1%となっており、県内地域間で年齢構造が異なっている。(図2)

図2 年齢(3区分)別人口割合



注) 割合には「年齢不詳」を含まない。

3 世帯の動向

総世帯数は 2,226,981 世帯

平成 28 年 10 月 1 日現在の福岡県の総世帯数は 2,226,981 世帯で、1 年間に 25,944 世帯、1.18% 増加している。

1 世帯当たり人員は 2.29 人で、前回に比べ 0.03 人減少しており、世帯規模の縮小が続いている。(表 5)

表5 世帯数及び1世帯当たり人員

	世帯数 (世帯)		1世帯当たり 人員(人)	
	28年	27年	28年	27年
福岡県	2,226,981	2,201,037	2.29	2.32
市部	1,975,898	1,952,901	2.25	2.28
郡部	251,083	248,136	2.60	2.63
福岡地域	1,186,918	1,167,040	2.20	2.22
筑後地域	310,555	307,377	2.60	2.64
筑豊地域	171,939	171,819	2.40	2.42
北九州地域	557,569	554,801	2.29	2.31

世帯数を市町村別にみると、福岡市が 778,562 世帯（総世帯の 35.0%）で最も多く、次いで北九州市の 427,701 世帯（同 19.2%）、久留米市の 123,761 世帯（同 5.6%）と上位 3 市で世帯全体の約 6 割を占めている。

1 世帯当たり人員をみると、最も多いのは大木町の 3.08 人で、次いで大刀洗町の 2.96 人となり、上位 10 市町中 6 市町が筑後地域となっている。(表 6)

表6 世帯数及び1世帯当たり人員順位(市町村)

順位	世帯数 (世帯)		1世帯当たり人員 (人)	
	1	福岡市	778,562	大木町
2	北九州市	427,701	大刀洗町	2.96
3	久留米市	123,761	筑前町	2.95
4	飯塚市	55,010	うきは市	2.92
5	大牟田市	49,391	みやま市	2.89
6	春日市	44,028	東峰村	2.86
7	大野城市	40,421	八女市	2.85
8	筑紫野市	40,060	柳川市	2.84
9	宗像市	39,524	宇美町	2.84
10	糸島市	35,321	久山町	2.83

第2 人口動態

1 人口増加数

1年間に5,151人(0.10%)増加

1年間(平成27年10月1日～28年9月30日)の総人口の増加5,151人(0.10%)の内訳は、自然増加が-5,710人(-0.11%),社会増加が10,861人(0.21%)となっており、社会増加が自然増加を上回った。

4地域別にみると、1年間に人口が増加したのは福岡地域のみであり、他の地域では人口減少が続いている。(表7, 表8, 表9, 図3)

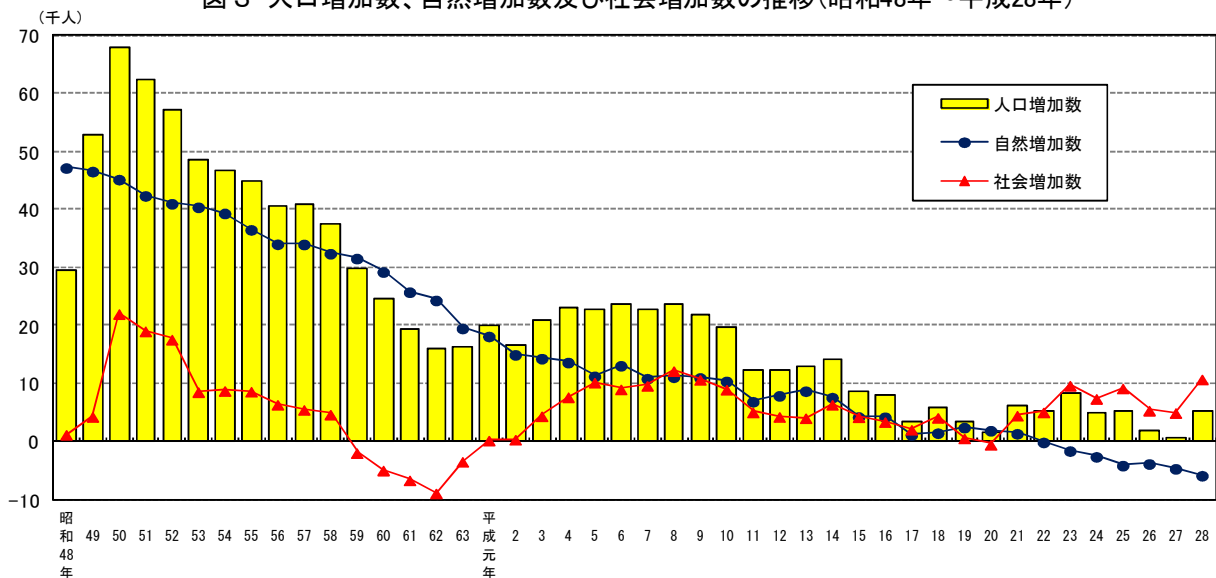
表7 人口増加数、自然増加数及び社会増加数(27年10月1日～28年9月30日)

	人口増加数(人)		自然増加数(人)		社会増加数(人)	
	28年	27年	28年	27年	28年	27年
福岡県	5,151	566	-5,710	-4,524	10,861	5,090
(男)	3,369	485	-2,158	-1,700	5,527	2,185
(女)	1,782	81	-3,552	-2,824	5,334	2,905
市部	5,697	1,458	-4,548	-3,567	10,245	5,025
郡部	-546	-892	-1,162	-957	616	65
福岡地域	19,311	17,037	4,384	5,076	14,927	11,961
筑後地域	-3,756	-5,032	-3,095	-3,106	-661	-1,926
筑豊地域	-4,038	-4,124	-2,599	-2,579	-1,439	-1,545
北九州地域	-6,366	-7,315	-4,400	-3,915	-1,966	-3,400

表8 人口増加率、自然増加率及び社会増加率(27年10月1日～28年9月30日)

	人口増加率(%)		自然増加率(%)		社会増加率(%)	
	28年	27年	28年	27年	28年	27年
福岡県	0.10	0.01	-0.11	-0.09	0.21	0.10
(男)	0.14	0.02	-0.09	-0.07	0.23	0.09
(女)	0.07	0.00	-0.13	-0.11	0.20	0.11
市部	0.13	0.03	-0.10	-0.08	0.23	0.11
郡部	-0.08	-0.14	-0.18	-0.15	0.09	0.01
福岡地域	0.75	0.66	0.17	0.20	0.58	0.47
筑後地域	-0.46	-0.62	-0.38	-0.38	-0.08	-0.24
筑豊地域	-0.97	-0.98	-0.62	-0.61	-0.35	-0.37
北九州地域	-0.50	-0.57	-0.34	-0.30	-0.15	-0.26

図3 人口増加数、自然増加数及び社会増加数の推移(昭和48年～平成28年)



増加数は福岡市がトップ、増加率は新宮町がトップ

人口増加数を市町村別にみると、福岡市が 15,097 人で最も多く、以下、福津市が 1,502 人、新宮町が 897 人となっている。また、人口増加率では新宮町が 2.96%と最も高く、以下、福津市が 2.56%、苅田町が 1.70%となっている。(表 9)

表9 人口増加数及び人口増加率順位(市町村)(27年10月1日～28年9月30日)

人口増加数(人)						人口増加率(%)					
順位	28年		順位	27年		順位	28年		順位	27年	
1	福岡市	15,097	1	福岡市	13,454	1	新宮町	2.96	1	新宮町	4.90
2	福津市	1,502	2	新宮町	1,424	2	福津市	2.56	2	福津市	1.87
3	新宮町	897	3	福津市	1,084	3	苅田町	1.70	3	粕屋町	1.22
4	粕屋町	744	4	春日市	571	4	粕屋町	1.64	4	須恵町	1.05
5	筑紫野市	672	5	大野城市	555	5	久山町	1.63	5	福岡市	0.89
6	苅田町	593	6	粕屋町	540	6	福岡市	0.98	6	広川町	0.75
7	大野城市	495	7	須恵町	284	7	須恵町	0.68	7	大野城市	0.57
8	久留米市	420	8	太宰府市	229	8	筑紫野市	0.66	8	春日市	0.52
9	那珂川町	246	9	広川町	151	9	大野城市	0.50	9	篠栗町	0.47
10	須恵町	185	10	篠栗町	147	10	那珂川町	0.49	10	久山町	0.45

2 自然増加数

1年間に5,710人(0.11%)減少

1年間の自然増加数は-5,710人(出生者45,165人、死亡者50,875人)で、自然増加率は-0.11%であった。前の1年間に比べると、出生者数は840人減少、死亡者数は346人増加となった。地域別にみると、福岡地域のみ増加となっており、他の地域は全て減少している。(表10、表11)

表10 自然増加数及び出生・死亡者数(27年10月1日～28年9月30日)

	自然増加数(人)		出生者数(人)		死亡者数(人)	
	28年	27年	28年	27年	28年	27年
福岡県	-5,710	-4,524	45,165	46,005	50,875	50,529
(男)	-2,158	-1,700	23,316	23,557	25,474	25,257
(女)	-3,552	-2,824	21,849	22,448	25,401	25,272
市部	-4,548	-3,567	39,265	39,850	43,813	43,417
郡部	-1,162	-957	5,900	6,155	7,062	7,112
福岡地域	4,384	5,076	25,004	25,263	20,620	20,187
筑後地域	-3,095	-3,106	6,614	6,779	9,709	9,885
筑豊地域	-2,599	-2,579	3,263	3,357	5,862	5,936
北九州地域	-4,400	-3,915	10,284	10,606	14,684	14,521

表11 自然増加率及び出生・死亡率(27年10月1日～28年9月30日)

	自然増加率(%)		出生率(‰)		死亡率(‰)	
	28年	27年	28年	27年	28年	27年
福岡県	-0.11	-0.09	8.85	9.03	9.97	9.92
(男)	-0.09	-0.07	9.67	9.80	10.57	10.51
(女)	-0.13	-0.11	8.12	8.35	9.44	9.40
市部	-0.10	-0.08	8.83	8.98	9.85	9.78
郡部	-0.18	-0.15	9.03	9.39	10.81	10.85
福岡地域	0.17	0.20	9.65	9.83	7.96	7.86
筑後地域	-0.38	-0.38	8.14	8.30	11.95	12.11
筑豊地域	-0.62	-0.61	7.83	7.98	14.07	14.12
北九州地域	-0.34	-0.30	8.03	8.24	11.46	11.29

出生・死亡者数の推移をみると、出生者数はこのところ横ばいであるが、死亡者数は増加傾向にある。死亡者数が出生者数を上回った平成23年以降は自然減少が続いている。(図4)

また、市町村別にみると、自然増加数は福岡市(3,467人)が最も多く、自然増加率は粕屋町(0.90%)が最も高くなっている。(表12)

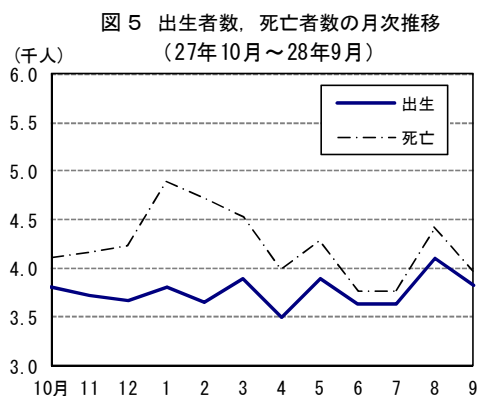
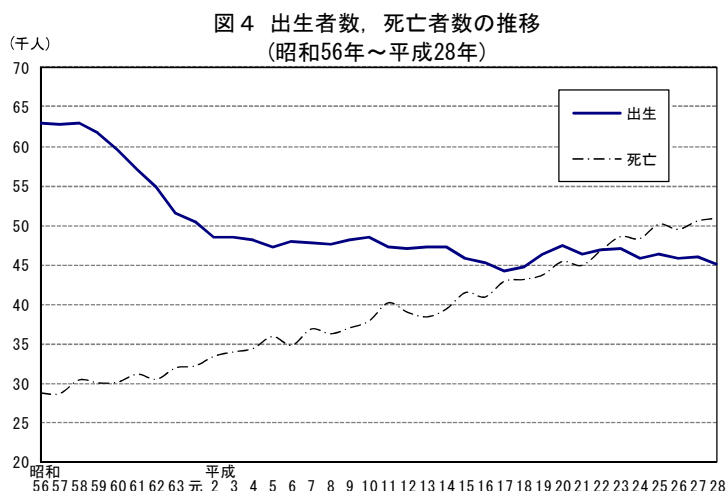


表12 自然増加数及び自然増加率順位(市町村)(27年10月1日～28年9月30日)

自然増加数(人)					自然増加率(%)						
順位	28年		順位	27年		順位	28年		順位	27年	
1	福岡市	3,467	1	福岡市	3,852	1	粕屋町	0.90	1	粕屋町	0.87
2	粕屋町	408	2	大野城市	503	2	新宮町	0.77	2	新宮町	0.77
3	大野城市	384	3	粕屋町	384	3	大野城市	0.39	3	大野城市	0.51
4	春日市	270	4	春日市	250	4	那珂川町	0.26	4	那珂川町	0.34
5	新宮町	235	5	新宮町	223	5	春日市	0.24	5	篠栗町	0.30
6	那珂川町	130	6	那珂川町	168	6	福岡市	0.23	6	志免町	0.26
7	筑紫野市	126	7	志免町	120	7	篠栗町	0.21	7	福岡市	0.25
8	志免町	92	8	太宰府市	116	8	志免町	0.20	8	春日市	0.23
9	篠栗町	64	9	篠栗町	94	9	苅田町	0.18	9	太宰府市	0.16
10	苅田町	62	10	筑紫野市	47	10	筑紫野市	0.12	10	古賀市	0.07

3 社会増加数

1年間に10,861人(0.21%)増加

1年間の社会増加数は10,861人(転入者281,425人,転出者270,564人)で、社会増加率は0.21%であった。前の1年間に比べると、転入者数は228人増加,転出者数は5,543人減少となった。地域別にみると、社会増となったのは自然増と同様に福岡地域のみである。(表13,表14)

表13 社会増加数及び転入・転出者数(27年10月1日～28年9月30日)

	社会増加数(人)		転入者数(人)		転出者数(人)	
	28年	27年	28年	27年	28年	27年
福岡県	10,861	5,090	281,425	281,197	270,564	276,107
(男)	5,527	2,185	145,891	145,304	140,364	143,119
(女)	5,334	2,905	135,534	135,893	130,200	132,988
市部	10,245	5,025	249,031	248,816	238,786	243,791
郡部	616	65	32,394	32,381	31,778	32,316
福岡地域	14,927	11,961	178,433	178,691	163,506	166,730
筑後地域	-661	-1,926	30,223	29,840	30,884	31,766
筑豊地域	-1,439	-1,545	14,848	15,097	16,287	16,642
北九州地域	-1,966	-3,400	57,921	57,569	59,887	60,969

表14 社会増加率及び転入・転出率(27年10月1日～28年9月30日)

	社会増加率(%)		転入率(%)		転出率(%)	
	28年	27年	28年	27年	28年	27年
福岡県	0.21	0.10	5.52	5.52	5.30	5.42
(男)	0.23	0.09	6.05	6.04	5.82	5.95
(女)	0.20	0.11	5.04	5.05	4.84	4.95
市部	0.23	0.11	5.60	5.61	5.37	5.49
郡部	0.09	0.01	4.96	4.94	4.87	4.93
福岡地域	0.58	0.47	6.89	6.96	6.31	6.49
筑後地域	-0.08	-0.24	3.72	3.66	3.80	3.89
筑豊地域	-0.35	-0.37	3.56	3.59	3.91	3.96
北九州地域	-0.15	-0.26	4.52	4.47	4.67	4.74

転入・転出者数の推移をみると、平成8年以降減少傾向にあったが、ここ数年は横ばいとなっている。(図6)

また、市町村別にみると、社会増加数は福岡市(11,630人)が最も多く、社会増加率は福津市(2.47%)が最も高くなっている。(表15)

図6 転入者数、転出者数の推移
(昭和56年～平成28年)

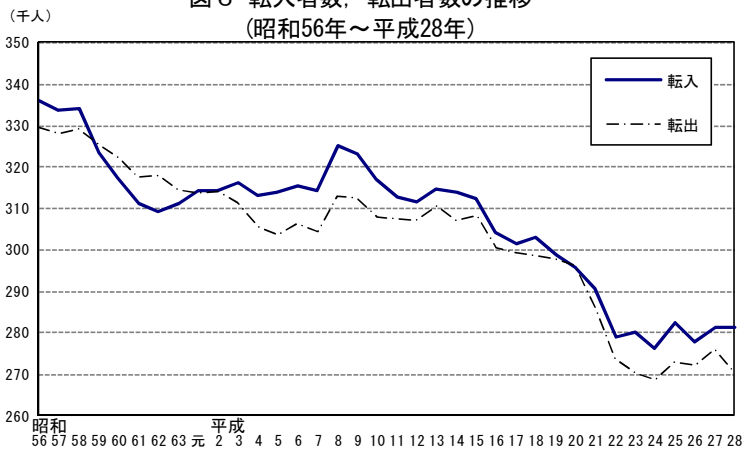


図7 転入者数、転出者数の月次推移
(27年10月～28年9月)

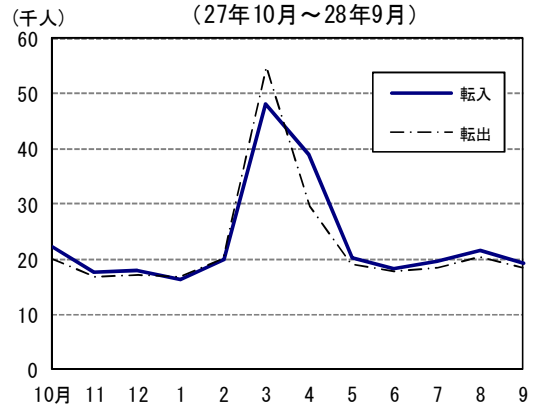


表15 社会増加数及び社会増加率順位(市町村)(27年10月1日～28年9月30日)

社会増加数(人)						社会増加率(%)					
順位	28年		順位	27年		順位	28年		順位	27年	
1	福岡市	11,630	1	福岡市	9,602	1	福津市	2.47	1	新宮町	4.13
2	福津市	1,449	2	新宮町	1,201	2	新宮町	2.18	2	福津市	1.95
3	久留米市	665	3	福津市	1,135	3	久山町	2.03	3	須恵町	0.99
4	新宮町	662	4	春日市	321	4	苅田町	1.52	4	広川町	0.78
5	筑紫野市	546	5	久留米市	287	5	福岡市	0.76	5	福岡市	0.63
6	苅田町	531	6	須恵町	268	6	粕屋町	0.74	6	久山町	0.59
7	糸島市	361	7	糸島市	227	7	須恵町	0.67	7	粕屋町	0.35
8	粕屋町	336	8	粕屋町	156	8	筑紫野市	0.54	8	春日市	0.29
8	宗像市	235	9	広川町	156	9	糸島市	0.37	9	東峰村	0.27
10	須恵町	184	10	太宰府市	113	10	大刀洗町	0.34	10	糸島市	0.23

4 移動者の状況

表16 県内・県外移動者数の推移(平成元年～平成28年)

(1) 移動者数の状況

移動者数は 382,799 人

1年間の移動者数をみると、県内移動者(県内各市町村からの転入者)が157,261人、県外移動者(県外からの転入者と県外への転出者の合計)が225,538人で、これらを合わせた移動者総数は382,799人となっている。(表16)

移動者数を年齢(5歳階級)別にみると、20～24歳の71,733人(構成比18.7%)が最も多く、以下、25～29歳の65,381人(同17.1%)、30～34歳の50,423人(同13.2%)の順となっている。(表17)

年次	移動者(人)	移動者(人)		
		県内移動	県外転入	県外転出
平成元年	431,654	187,975	122,807	120,872
2	429,787	187,349	122,023	120,415
3	432,155	186,133	125,427	120,595
4	429,135	181,499	128,356	119,280
5	424,459	184,634	125,833	113,992
6	423,634	189,814	122,310	111,510
7	422,317	187,705	123,166	111,446
8	439,048	189,087	130,480	119,481
9	439,925	186,203	131,321	122,401
10	435,763	179,082	132,289	124,392
11	430,065	179,414	127,340	123,311
12	428,730	178,897	126,696	123,137
13	432,980	181,348	127,573	124,059
14	431,674	178,242	129,510	123,922
15	429,967	180,176	126,537	123,254
16	420,844	173,240	125,160	122,444
17	417,847	172,006	123,672	122,169
18	418,073	172,691	124,058	121,324
19	415,146	170,805	121,761	122,580
20	411,048	170,474	119,677	120,897
21	401,922	165,509	119,162	117,251
22	383,159	161,737	112,472	108,950
23	384,594	159,548	116,958	108,088
24	379,510	156,175	115,427	107,908
25	382,882	159,416	117,138	106,328
26	378,946	158,763	113,565	106,618
27	384,539	160,226	115,432	108,881
28	382,799	157,261	117,918	107,620

注) 平成7年以前の数値は総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」によるため、外国人を含まない。

表17 年齢(5歳階級)別移動者数(27年10月1日～28年9月30日)

年齢階級	移動者				転入者			転出者		
	総数	構成比(%)	県内移動(a)	県外移動(b)+(c)	総数	県内(a)	県外(b)	総数	県内	県外(c)
総数	382,799	100.0	157,261	225,538	281,425	157,261	117,918	270,564	157,694	107,620
0～4	27,451	7.2	12,402	15,049	20,433	12,402	7,763	19,937	12,454	7,286
5～9	13,812	3.6	5,019	8,793	9,907	5,019	4,761	9,148	5,015	4,032
10～14	7,159	1.9	2,708	4,451	5,165	2,708	2,388	4,819	2,721	2,063
15～19	22,525	5.9	7,063	15,462	16,604	7,063	9,102	13,649	7,162	6,360
20～24	71,733	18.7	23,365	48,368	49,857	23,365	24,922	48,144	23,536	23,446
25～29	65,381	17.1	27,579	37,802	47,504	27,579	18,914	47,856	27,626	18,888
30～34	50,423	13.2	22,775	27,648	37,540	22,775	14,185	36,925	22,746	13,463
35～39	34,306	9.0	15,007	19,299	25,500	15,007	10,101	24,643	15,029	9,198
40～44	24,863	6.5	10,128	14,735	18,184	10,128	7,731	17,427	10,108	7,004
45～49	16,758	4.4	6,756	10,002	12,198	6,756	5,130	11,852	6,759	4,872
50～54	12,170	3.2	5,048	7,122	9,055	5,048	3,777	8,544	5,062	3,345
55～59	9,396	2.5	4,204	5,192	7,207	4,204	2,771	6,773	4,215	2,421
60～64	7,111	1.9	3,487	3,624	5,754	3,487	2,036	5,197	3,495	1,588
65～69	6,102	1.6	3,366	2,736	5,060	3,366	1,491	4,735	3,370	1,245
70～74	3,236	0.8	1,913	1,323	2,692	1,913	693	2,584	1,918	630
75～79	2,870	0.7	1,705	1,165	2,397	1,705	631	2,277	1,719	534
80～84	3,167	0.8	1,910	1,257	2,623	1,910	677	2,507	1,916	580
85～89	2,595	0.7	1,620	975	2,206	1,620	551	2,074	1,628	424
90～94	1,367	0.4	934	433	1,197	934	236	1,146	939	197
95～99	328	0.1	241	87	302	241	51	284	246	36
100歳以上	46	0.0	31	15	38	31	7	38	30	8
不詳	0	0.0	0	0	2	0	0	5	0	0

注1) 転入者及び転出者の総数には、新旧住所地不明者及び職権記載者、消除者を含む。

注2) 県内転入者と県内転出者は本来一致するものであるが、届出時期の関係等で一致しないため、県内転入者=県内移動者としている

(2) 県内移動

1年間の県内移動者数は157,261人となっている。年齢(5歳階級)別にみると、25～29歳の27,579人(構成比17.5%)が最も多く、以下、20～24歳の23,365人(同14.9%)、30～34歳の22,775人(同14.5%)と続いている。(表17)

県内移動者を地域別にみると、福岡地域への転入者が98,036人と最も多く、次いで北九州地域の34,381人、筑後地域の14,436人、筑豊地域の10,408人となっている。地域間移動をみると同一域内以外では、筑後地域から福岡地域への移動が42.5%と最も高くなっている。(表18)

表18 県内地域間移動(27年10月1日～28年9月30日)

		移動先住所地別県内移動者数(人)					移動先住所地別割合(%)				
		県計	福岡地域	筑後地域	筑豊地域	北九州地域	県計	福岡地域	筑後地域	筑豊地域	北九州地域
従前住所地	県計	157,261	98,036	14,436	10,408	34,381	100.0	62.3	9.2	6.6	21.9
	福岡地域	93,674	79,726	5,515	2,279	6,154	100.0	85.1	5.9	2.4	6.6
	筑後地域	15,307	6,504	7,644	297	862	100.0	42.5	49.9	1.9	5.6
	筑豊地域	11,623	3,296	344	5,700	2,283	100.0	28.4	3.0	49.0	19.6
	北九州地域	36,657	8,510	933	2,132	25,082	100.0	23.2	2.5	5.8	68.4

注) 表側の地域から、表頭の地域への転入者。

(3) 県外移動

1年間の県外移動者数(国外への転出入を含む)は225,538人となっている。このうち、転入者が117,918人、転出者が107,620人で、10,298人の転入超過となっている。

また県外移動者の地域別構成比をみると、最も高い福岡地域の64.1%に対し、最も低い筑豊地域では3.7%となっている。(表19)

年齢(5歳階級)別にみると、20～24歳の48,368人(構成比21.5%)が最も多く、以下、25～29歳の37,802人(同16.8%)、30～34歳の27,648人(12.3%)と続いている。(表17)

表19 地域別県外移動者数及び構成比
(27年10月1日～28年9月30日)

	県外移動者数(人)		転入者数(人)		転出者数(人)	
		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)
福岡県	225,538	100.0	117,918	100.0	107,620	100.0
市部	205,225	91.0	107,611	91.3	97,614	90.7
郡部	20,313	9.0	10,307	8.7	10,006	9.3
福岡地域	144,584	64.1	78,158	66.3	66,426	61.7
筑後地域	30,127	13.4	15,267	12.9	14,860	13.8
筑豊地域	8,308	3.7	4,070	3.5	4,238	3.9
北九州地域	42,519	18.9	20,423	17.3	22,096	20.5

(4) 住所地別にみた県外転入・県外転出

転入者は国外、転出者は東京都が最多

住所地別に県外からの転入者の内訳をみると、国外からの転入で15,689人、次いで東京都の10,498人、熊本県の9,821人の順となっており、県外への転出先の内訳では、東京都の14,863人、国外の7,618人、熊本県の7,160人の順となっている。(表20, 表21)

**表20 従前住所地別県外転入者順位
(27年10月1日～28年9月30日)**

順位	従前住所地	転入者数 (人)	構成比 (%)
-	県外計	117,918	100.0
1	国外	15,689	13.3
2	東京都	10,498	8.9
3	熊本県	9,821	8.3
4	長崎県	9,105	7.7
5	佐賀県	7,535	6.4
6	大分県	6,851	5.8
7	鹿児島県	6,001	5.1
8	大阪府	5,820	4.9
9	神奈川県	4,998	4.2
10	山口県	4,959	4.2

**表21 移動後住所地別県外転出者順位
(27年10月1日～28年9月30日)**

順位	転出先住所地	転出者数 (人)	構成比 (%)
-	県外計	107,620	100.0
1	東京都	14,863	13.8
2	国外	7,618	7.1
3	熊本県	7,160	6.7
4	大阪府	6,441	6.0
5	佐賀県	6,324	5.9
6	長崎県	6,285	5.8
7	神奈川県	6,009	5.6
8	大分県	5,668	5.3
9	鹿児島県	4,948	4.6
10	愛知県	4,440	4.1

筑後地域、北九州地域で顕著な隣接県との移動

住所地別転出入を地域別にみると、県外からの転入者は、福岡地域では国外の10,311人、筑後地域では国外の3,137人、筑豊地域では国外の634人、北九州地域では山口県の2,015人が最も多くなっている。(表22)

県外への転出者は、福岡地域では東京都の10,448人、筑後地域では佐賀県の1,958人、筑豊地域では東京都の490人、北九州地域では東京都の2,432人が最も多くなっている。(表23)

4地域とも九州各県や東京都、国外からの移動が多いが、特に筑後地域の佐賀県や熊本県、北九州地域の山口県や大分県など、その地域と隣接する県との間の移動が多くなっている。

表22 地域別転入者の従前の住所地順位(27年10月1日～28年9月30日)

順位	福岡地域		筑後地域		筑豊地域		北九州地域	
	従前の住所地	(人)	従前の住所地	(人)	従前の住所地	(人)	従前の住所地	(人)
1	国外	10,311	国外	3,137	国外	634	山口県	2,015
2	東京都	7,682	熊本県	2,075	東京都	317	大分県	1,788
3	長崎県	6,854	佐賀県	1,883	熊本県	282	国外	1,607
4	熊本県	6,295	東京都	1,021	大分県	248	東京都	1,478
5	佐賀県	4,747	長崎県	895	長崎県	223	熊本県	1,169
6	鹿児島県	4,512	大分県	688	佐賀県	221	長崎県	1,133
7	大阪府	4,229	神奈川県	552	大阪府	214	神奈川県	939
8	大分県	4,127	鹿児島県	525	山口県	186	大阪府	893
9	神奈川県	3,352	大阪府	484	愛知県	159	鹿児島県	827
10	宮崎県	3,010	宮崎県	412	神奈川県	155	広島県	802

表23 地域別転出者の移動後住所地順位(27年10月1日～28年9月30日)

順位	福岡地域		筑後地域		筑豊地域		北九州地域	
	移動後住所地	(人)	移動後住所地	(人)	移動後住所地	(人)	移動後住所地	(人)
1	東京都	10,448	佐賀県	1,958	東京都	490	東京都	2,432
2	国 外	4,558	熊本県	1,572	国 外	422	大分県	1,819
3	大阪府	4,413	東京都	1,493	大阪府	272	山口県	1,614
4	長崎県	4,367	国 外	1,095	熊本県	255	国 外	1,543
5	熊本県	4,266	長崎県	824	大分県	246	神奈川県	1,243
6	神奈川県	3,885	神奈川県	677	長崎県	206	大阪府	1,142
7	佐賀県	3,579	大分県	672	神奈川県	204	熊本県	1,067
8	鹿児島県	3,482	大阪府	614	愛知県	204	愛知県	1,037
9	大分県	2,931	千葉県	609	佐賀県	199	長崎県	888
10	愛知県	2,606	愛知県	593	千葉県	193	広島県	886